

第 170 回 記録管理学会例会のご案内

大会・例会担当理事 石井 幸雄

第 170 回例会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため引き続き Zoom にて開催します。

今回も 2020 年研究大会を補完する例会と位置づけ、放送大学教養学部教養学科の新原俊樹さんに、行政文書ファイル管理簿の取扱いに関する独自理論についてお話しいただき、参加される皆様との交流を通じて新たな知見を生み出す場になることを期待しています。

なお、研究発表については、学会誌『レコードマネジメント』80 号（2021 年 3 月 17 日発行予定）掲載されますのでご一読ください。

《報告概要》

本研究では、コサイン類似度を用いた文書の同一判定の手法を活用し、地方公共団体の出先機関の各課室が行政文書ファイル管理簿に登録すべき文書の選定や保存期間及び保存期間満了後の措置の設定について検討する際に、同じ業務を所掌する課室の間で共通して参照することができる地方出先機関版の標準文書保存期間基準（保存期間表）を作成した。

多くの文書の保存する課室では 6～8 割、それ以外の課室でも 3 割程度以上の文書がこの保存期間表に記載されており、これらの文書については同表を参照することで、他の課室における分類状況や文書に付した名称、保存期間等の設定状況を把握できることが分かった。

一方、保存期間表に記載した各文書の分類や保存期間等の設定については課題を残した。この課題を解決するためには、現状において複数の分類の観点が混在する分類体系と、これに紐づけて保存期間等を設定する運用形態の改善が必要になる。

会員の皆様はもとより、本テーマにご関心がある方、特に行政機関に携わる方は奮ってご参加下さい。なお、今回も議論を深めるため少人数で実施しますので、お申込みは先着 15 名様とさせていただきますのでご了承ください。

記

- テ ー マ 地方公共団体の出先機関における標準文書保存期間基準(保存期間表)の作成
内 容 新原俊樹氏(会員)による報告及び参加者とのディスカッション
開催日時 2021 年 4 月 10 日(土)15:00～17:00
開催方法 オンライン方式(Zoom 形式)
主 催 記録管理学会：<http://www.rmsj.jp/>
後 援 ARMA 東京支部：<http://www.arma-tokyo.org/>
参加費 会員・非会員とも無料
要 申 込 e-mail：office_ishii/atmarak/maia.eonet.ne.jp
問合せ先 お申し込み時に、ご芳名、ご所属をご記入ください。
※メールの際は、/atmarak/を@に変更して送信をお願いします。
申込締切 2021 年 4 月 3 日(土)22:00、ただし、先着 15 名様とさせていただきます。
ミーティング ID 及びパスコードは、4 月 4 日(日)、参加者全員にメールします。

以上